

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

平成30年度 第2回 定時評議員会

議 事 録

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
平成30年度第2回定時評議員会議事録

日時 平成31年3月28日（木）
午後3時59分 開会
場所 調布市教育会館
302研修室（3階）

出席評議員（5人）

評議員	武者小路	信和
評議員	浅井	京子
評議員	瀧田	浩
評議員	小西	聡
評議員	齋田	文雄

出席理事（2人）

理事長	武者小路	知行
常務理事	大木	正勝

相談役	福田	宏
-----	----	---

事務局	事務局長	大木	正勝（兼任）
	局長代理	福島	さとみ
	主幹	生野	正毅
	次長	伊藤	陽子
	総務係主任	石井	めぐみ

（午後5時9分 閉会）

[議事次第]

－理事長挨拶－

第1 議題

(1) 審議事項

ア 議案第1号 議事録署名人の選出について

(2) 報告事項

ア 報告第1号 平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算第1号について（専決処分）

イ 報告第2号 平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画について

ウ 報告第3号 平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について

第2 その他

- ・ミュージアムショップのリニューアルについて
- ・実篤記念館紹介記事について
- ・春の特別展「実篤がみた女性たち」について
- ・ぐるっとパス2019について
- ・役員報酬の源泉徴収額の変更について
- ・平成31年度の職員体制について
- ・「お散歩！おとなり美術館 ミュージアム・リンク・ムサシノ」について

○事務局　皆さん、こんにちは。4時からということでございまして、定刻より少し前なのですが、評議員の皆様お集まりいただきましたので、早速平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館第2回定時評議員会を開催いたしたいと存じます。

開催に当たりまして、初めに武者小路理事長から一言ご挨拶を申し上げます。

よろしくお願いいたします。

○武者小路理事長　どうも、お忙しいところありがとうございます。桜の満開宣言が出たんですが、何か天候のほうはなかなか思うようになってくれないところもありますけれども、お体に気をつけてお過ごしください。

今日、皆さんお忙しい中とは思いますが、いろいろご審議いただきたい事項がございますので、よろしくお願いいたします。

○事務局　どうもありがとうございました。

それでは、ただいまから定時評議員会第2回を開会いたします。

評議員会の進行につきましては、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第18条の規定により、評議員会に出席の評議員の方の中から議長を選出することになっております。いかがいたしましょうか。

(「事務局一任」)

○事務局　よろしいですか。

事務局一任という声を頂戴いたしましたので、私どものほうでさせていただきますようによろしいでしょうか。

(「異議なし」)

○事務局　ありがとうございます。

異議なしということで、事務局から指名をさせていただきます。

議長につきましては、齋田評議員をお願いをいたしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、齋田評議員に議長をお願いいたしまして、議事進行を進めていただきたいと思います。

それでは、よろしくお願いいたします。

○議長　それでは、私が議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、本日の評議員会の効力について、事務局から報告をお願いします。

○事務局　本日、5人の評議員のうち全ての出席を確認させていただ

ておりますので、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第19条に定める定足数に達していることをご報告申し上げます。

○議長　それでは、お手元の議事次第のとおり進めてまいります。

初めに、審議事項のうち、議案第1号「議事録署名人の選出について」を議題といたします。

事務局から提案説明をお願いします。

○事務局　議事録署名人につきましては、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第22条第2項の規定により、出席した評議員の中からお二人を選任することとなっております。いかがいたしましょうか。

（「議長に一任します」）

○議長　ただいま、議長一任の声がありましたが、議長一任でよろしいでしょうか。

（「異議なし」）

○議長　では、異議なしということですので、議長から指名させていただきます。

瀧田評議員と武者小路評議員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」）

○議長　ありがとうございます。それでは、瀧田評議員と武者小路評議員が議事録署名人に選任されました。どうぞよろしくお願いいたします。

次に、報告事項に入ります。報告第1号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算第1号（専決処分）について」を議題といたします。

まず報告第1号を説明していただいた後、質疑に入りたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」）

○議長　ご異議なしと認め、そのように決定させていただきます。

それでは、事務局より報告第1号について説明してください。

○事務局　報告第1号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算第1号（専決処分）について」、ご報告申し上げます。

今回の補正は、移動展示ガラスの破損の発生や、防火設備点検の義務化に伴う支出増、自主事業の予算の組みかえに伴う補正予算です。この補正予算は、理事会等を開くいとまがないことから専決処分とさせていただきました。

それでは、補正予算第1号、1ページをごらんいただきたいと思います。補正の該当箇所のみご説明させていただきます。

まず、1ページ、総括表。I事業活動収支の部5諸収入の3雑収入でございます。これは平成30年9月7日に展示替え終了後、地下展示室倉庫内で作業機が倒れ、倉庫内に保管してありました移動用展示ケースのガラスが破損する事故が発生いたしました。人的な被害はございませんでしたが、ケースのガラスが破損しひびが入り、ケース構造上、上部のガラス部分の全体について取りかえが必要となりました。この修理費用としましては、施設賠償保険の保険金が支払われることになって、この補正額は保険金となるものでございます。雑収入当初予算15万円に対して補正額38万9,000円、合計53万9,000円となります。

そして、事業収入の欄、一番下でございますが、事業活動収入の合計が1億3,226万3,000円、補正額が38万9,000円で、合計額が1億3,265万2,000円となります。

次に、事業活動支出でございます。1普及促進事業費が当初予算の1,165万8,000円に対して13万1,000円の減額となります。次に、3施設管理費1施設管理運営事業は、当初1,329万1,000円のところ、52万円増で、合計1,381万1,000円となります。これは収入の38万9,000円増と普及促進事業費13万1,000円の減額の合計となります。これにより、事業活動支出は当初の予算1億3,226万3,000円に対して、補正額合計が38万9,000円となり、合計1億3,265万2,000円で、事業活動収支の差額はいずれもゼロとなります。

次に、2ページ以降の科目一覧でございます。こちらは、2ページの事業活動収入に対しては、先ほどご説明したとおり、対物賠償保険の保険金38万9,000円が新たに増となったということでございます。

次に、3ページ、科目一覧でございます。1管理費は補正はございませんので、全て補正額はゼロとなっております。

次に、4ページでございます。2事業費でございます。2事業費1普及促進事業費のうち、5使用料及び賃借料でございます。こちらは、当初予算27万円に対して13万1,000円の減額補正となり、合計金額13万9,000円となります。これに関しては、特別展新しき村の100年において、新しき村美術館から作品を借用する予定で、この借用料が当初想定されましたが、村のご協力で無料となりました。このため、残金が

出たことから、施設管理運営事業費の不足額である金額13万1,000円を減額いたしました。これにより、事業費は当初1,703万円に対して13万1,000円の減額で1,689万9,000円となりました。

次に、5ページ、3施設管理費でございます。1需用費（修繕料）が当初340万8,000円でしたが、43万円の増、合計383万8,000円となります。これは、先ほど申しました展示ケースのガラス破損の修繕費、ほかに緊急的な修繕により年度後半で予定しました修繕の費用が不足したことによるものでございます。次に、3委託料です。そのうち保守点検委託料となります。毎年実施しております建築設備点検が平成30年度より防火設備点検の項目が義務化されたことにより、その追加費用に当たります。当初予算が141万9,000円で補正額が9万円の増、合計で150万9,000円となります。これで、3の施設管理費の総合計が1,984万3,000円で、補正額52万円、合計で2,036万3,000円となりました。

次に、6、自主事業費でございます。まず最初に、表の右から2列目のところの項目欄の名目が「増減」となっております。これは「合計」の誤りでございますので、修正をお願いいたします。申しわけございません。自主事業では、ミュージアムショップのリニューアルに伴う家具の追加製作と新しき村100周年事業に関する新しき村への協力謝礼にかかわる自主事業費内の組みかえとなります。2物品販売事業費でございます。2商品仕入費、当初500万に対して30万の減額で、合計470万円になります。2仕入費に関しては、「文豪とアルケミスト」とのタイアップ企画の終了に伴う残金でございます。5委託料、148万円に対して30万円の増、合計178万円となります。これはミュージアムショップのリニューアルに伴う費用でございます。本日配付いたしました資料の1番目のところにミュージアムショップのリニューアルの様子がわかる資料を配付させていただきました。中段の写真が一番わかりやすいんですけども、左右の棚2台を当初予定しておりましたが、コーナーの統一感を図る必要があることから、平成30年度製作する家具として、中央のカウンター台を追加し、また絵葉書用の木製箱を製作することとなりました。その不足額30万円を増額したものでございます。

次に、3自主事業費でございます。1報償費は当初10万円に対して補正で20万円増となり、合計30万円となります。これは、新しき村100周年事業への新しき村の協力に対する礼品を送った費用に当たりま

す。礼品は、新しき村ご希望による音響機器と、美術館清掃用のロボット掃除機を購入いたしました。次に、報償費の増額分につきましては、5 委託料が10 万円減額補正、10 人件費が10 万円減額補正となります。いずれも「文豪とアルケミスト」とのタイアップ企画のために予算化した費用で、事業終了によりその残金に当たります。自主事業、それから物品販売事業のいずれも予算内の組みかえとなることから、当初の予算に対して補正額ゼロ、合計額が同額となります。そして、4 自主事業費の当初予算が883 万5,000 円、補正額はゼロ、合計額は同額の883 万5,000 円となります。

7 ページ、5 予備費については、補正はございません。

以上で、雑駁ではございますが、平成30 年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算第1 号の説明を終わります。

○議長 ただいま事務局の説明が終わりました。

報告第1 号「平成30 年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算第1 号（専決処分）について」、質疑、ご意見ございませんでしょうか。

○小西評議員 ちょっといいですか。簡単な確認なんですが、ケースが壊れたものの修理費がほぼ保険で賄えると書いてあるんですけども。

○事務局 そうですね。1 万円、いわゆる本人負担みたいなところ以外は全部見ております。

○議長 ほかに質疑、ご意見ございませんか。

（「ありません」）

なければ、質疑を打ち切ります。

○議長 ご異議なしと認め、報告第1 号「平成30 年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算第1 号（専決処分）について」は了承することと決定いたしました。

○事務局 ありがとうございます。

○議長 次に、報告第2 号「平成31 年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画について」及び報告第3 号「平成31 年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について」を議題といたします。

報告第2 号及び報告第3 号につきましては、2 案を一括して説明していただいた後、それぞれの報告ごとに質疑を行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議ありません」）

○議長 では、ご異議なしと認め、そのように決定させていただきます。
それでは、事務局より報告第2号及び報告第3号を一括して説明してください。

○事務局 それでは、報告第2号、平成31年度事業計画について、ご説明をさせていただきます。

報告第2号「平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画について」。

上記を報告します。平成31年3月28日、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事長、武者小路知行。

それでは、事業計画、お手元にお配りしているものに沿って、平成31年度に特徴的あるいは重点的に取り組むことについてご説明をしてみたいです。

まず、1ページ目でございます。1の基本方針の部分でございますが、平成31年度は調布市が平成26年4月から指定管理者制度を導入し、その第1期に当財団が指定管理者として指定されて、最後の年が平成30年度でございました。平成31年度からは指定管理の第2期ということで、今回の指定管理期間は10年間となります。また、引き続きまして、実篤公園の日常管理について調布市からの受託をしてみたいです。また、平成31年度につきましては、2019年・2020年に国内外から多くの来訪者が見込める国際的なスポーツ大会も控えていることから、市民並びに周辺のさまざまな団体との連携をもって魅力ある事業を展開してみたいと存じます。

それでは、2ページの2、平成31年度重点的な取組についてご説明をいたします。

まず、1つ目です。学校との連携の推進でございます。従来から実篤記念館といたしましては学校との連携に努めてまいりました。平成30年度の3月に近隣でございます第四中学校の部活動との連携を図るなど、新しい取り組みも始めております。実篤記念館といたしましては、中学生の新しい経験、また学校ではできないさまざまな成果の発表の場などを提供し、学習の機会、経験の提供をしてみたいです。博学連携プログラムの作成や活用によりまして、次代を担う層へのアプローチを引き続き積極的に行ってまいります。

2つ目でございます。秋の特別展「長與善郎と実篤」を開催いたします。こちらは、平成30年の2月に白樺同人・長與善郎様のご遺族からご所蔵

の資料を借用しておりまして、こちらの整理と研究を進めてまいりました。その成果を生かした形で平成31年度の秋の特別展を開催するということを計画しております。

3つ目でございますが、「友情」発表100年リレー展示でございます。実篤の代表作として現在も文庫本の発行が続いております小説『友情』は、大正8年（1919年）に発表されておりますので、2019年は100年に当たる年になります。これを記念いたしまして、1年間、全ての企画展・特別展の中に『友情』のコーナーを設けて、さまざまな角度から『友情』の紹介をしてまいります。

4つ目です。登録有形文化財「旧武者小路実篤邸」の保存と活用ということでございます。平成30年11月に、国の登録有形文化財に登録された武者小路実篤邸について、築60年を経過している建物の保存と、それを公開・活用していくということを進めてまいります。

（5）のボランティアの養成でございます。平成15年度からボランティアの活動を開始しておりますが、特に、ボランティアガイドにつきましては、利用者から大変好評もいただいておりますし、ボランティア活動としてさまざまな事業へ協力をいただいております。平成26年度以降新規の養成を行ってこれませんでしたので、平成31年度には養成を行いまして、ボランティア活動の充実を図ってまいります。

6項目めですが、他施設との連携の推進ということです。これも従来から取り組んでまいりましたとおり、市内の各文化施設との連携、それから昨年までも行ってまいりましたが、多摩川流域自治体イベントラリー、それから新たに取り組むものとして、府中市美術館と小金井市立はけの森美術館と当館の3館でのスタンプラリーというものを実施して、外へつながっていくような事業展開に努めてまいります。

7項目めですが、作品と資料の保存環境の整備ということでございます。平成31年度は、隔年で実施しております虫菌害を防止するための収蔵庫の燻蒸消毒を実施いたします。

続きまして、事業内容について。3ページ、3番目でございますが、今までにご説明してきたこと以外の部分につきまして、ご説明をしてまいります。

1番の展示事業でございますが、6ページの表と、それから17ページに今年度の展覧会の日程が載っております。年間2回の特別展と5回の企画展ということでございますが、秋は先ほどご説明しました「長與善郎

と実篤」、春は「実篤がみた女性たち」ということをテーマとして特別展を開催いたします。また、「新収蔵品展」を開催いたします。前回平成26年度に開催しておりまして、それ以降に、このところ寄贈などが相次いでおり、かなり新しく入ってきた資料・作品がございますので、こちらのお披露目として「新収蔵品展」を開催いたします。

続きまして、4ページ目の普及事業でございます。学校連携につきましては、先ほどご説明いたしました。また、さらに夏休み事業として引き続き事業を展開していくということと、それから中学生ボランティアを今導入しておりますが、これをさらに大学生、高校生に広めるためのニーズの把握と要件の把握に努めて環境を整備してまいります。広報活動といたしましても、独自ツイッターなどの活用をしております。また、他館、各種団体への講師派遣なども積極的に行ってまいります。こちらはボランティアについてが8ページ、それから外へつながるさまざまな連携については9ページの表にまとめてございます。

3番ですが、資料管理事業でございます。こちらは10ページ・11ページに表になっております。先ほど「新収蔵品展」のお話のところでも申し上げましたが、寄贈のお申し出も毎年ございます。あるいは、寄託とか購入などによって収集し、またそれらを保存・管理し、また貸し出しなどの手続などにも対応してまいります。

4番の閲覧サービス・情報公開事業でございます。こちらは表では12ページに当たります。来館者が開室時間には自由に本が読める一般閲覧サービスと、研究者が事前に打ち合わせた上で原稿などの生資料を見られる特別閲覧の事業を引き続き対応してまいります。また、収蔵品データベースに順次資料のデータをアップしてまいりまして、新たな資料の情報についても情報公開してまいります。

5番です。調査・研究事業です。表では13ページに当たります。先ほどお話しました長與善郎さん関係の資料につきまして、引き続き整理と研究を進め、受贈に向けて所蔵者のご意向を確認しながら整備し、また活用してまいります。2020年のオリンピック・パラリンピックに関連して、また調布市が映画の街であることから、映画化作品に関してそれぞれ調査と研究を進めてまいります。

5ページ、施設管理事業についてです。こちらは表では14ページに対応いたします。実篤記念館では、施設・設備が経年劣化によりまして不具合が発生する率が高くなってきておりますので、引き続き管理に努め、利

用者が安全・安心して快適に利用していただけるように、また所蔵している作品・資料が良好な環境で管理でき、また展示して鑑賞していただけるように努めてまいります。平成31年度といたしましては、先ほどもご説明いたしましたが、燻蒸消毒を行います。また、平成30年度に館内のエレベーターのふぐあいが生じたことに関連しまして、シーケンスの取りかえ修繕を行います。また、空調の安定に向けて引き続き努力をいたしまして、状況を確認し、調整しながら空調の温湿度の安定に努めてまいります。

(7)の自主事業でございますが、13ページから14ページに表が対応しております。物販につきましては引き続き自主財源の確保、それから収益から自主事業の充実を図り、また、ミュージアムグッズづくりと、新たに広告に関してですけれども、仙川駅前の広告掲載費用に充てております。こちらはデジタルサイネージのようなものが仙川駅前に新たにつくられまして、そちらに情報を掲載したものでございます。また、平成31年度は平成30年度に引き続いてミュージアムショップの棚やワゴンのリニューアルによって、より魅力ある場を演出していくように努めてまいります。

8番、財団運営に関してでございます。平成31年度からは指定管理期間が10年間と長期になりましたので、長期的な展望を持って事業に取り組み、人材の育成を図ることができるようになりました。引き続き一層職員のスキルアップに努め、人材育成につきましては外部のさまざまな研修を利用すること、それからベテラン職員から若手への知識や技術の継承に努めてまいります。また、運営費用につきましては、効率的・効果的な事業運営を行うことで経費の抑制に努めてまいります。

雑駁ではございますが、事業計画についてのご説明を以上で終わらせていただきます。

○事務局　引き続き、報告第3号「平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について」。

上記を報告いたします。平成31年3月28日、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事長、武者小路知行でございます。

では、予算書をごらんいただきたいと思います。

まず、1ページをごらんください。平成31年度の予算は、これまでは事業活動収支のみの記載でございましたが、自主事業においてミュージアムショップの物品棚が固定資産となることから、財務諸表に連動した予算

書形式に変更いたしました。これは、先般平成30年度決算書の作成に向けて会計事務所との打ち合わせのとき、税込み30万円を超える物品棚などの製作家具が固定資産で減価償却の対象となり、投資的活動収支に記載することが適切であるとのこと指摘をいただきました。このことから事業活動収支の部だけではなく、投資活動収支の部、財務活動収支の部も予算から記載する書式にいたしました。

1 ページ、予算書の総括欄をごらんください。1 ページがⅠ事業活動収支の部の事業活動収入で2 ページが事業活動支出となっております。当財団の予算は、調布市からの補助金、指定管理料、受託事業収入、それから利用料収入や諸収入から成っております一般会計と、物品販売事業と自主事業を展開する特別会計で構成されております。これらの2つの会計を総括した表となっております。最下段、事業活動収入の総額が1億3,465万5,000円となっております。前年度より239万2,000円の増額となっております。

次に、2 ページをごらんくださいませ。事業活動支出です。管理費、事業費、施設管理費、自主事業費から成っております。事業活動支出計は下から2段の1億3,460万5,000円、昨年度との増減からすると、239万2,000円の増となっております。最下段の事業活動収支差額でございます。当初予算額5万円の数字になっていますが、これは後ほど出てまいります予備費の費用に当たります。

次に、3 ページをごらんください。Ⅱ投資活動収支の部。投資活動収入はゼロ、投資活動支出のほうで固定資産取得費ということで100万円計上しております。投資活動支出の合計が100万円、そして投資活動収支の差額がマイナス100万となっております。この収支差額のマイナス100万円は、繰越金が活用されてまいります。

Ⅲ財務活動収支の部です。こちらは収入、支出ともゼロでございます。

次に、4 ページをごらんください。Ⅳ予備費支出でございます。こちらは、1 予備費支出、先ほど事業活動収支の残であった5万円がこれに充てられておりまして、増減はゼロでございます。次の行は全体の当期収支差額で100万円のマイナスとなります。次の行、前期繰越金収支差額です。平成29年度の特別会計次期繰越金453万3,237円から、平成30年度に棚やカウンターなどの製作にかかわる経費などの合計170万円を引いた額である283万3,000円を計上しております。次の行、次期繰越収支差額は、前期繰越収支差額からショップのリニューアルにかかわ

る投資活動支出の分100万円マイナスの部分を引きいた188万3,000円となります。いずれの繰越収支差額も前年度には計上しておりませんでしたので、増減として283万3,000円、次期繰越収支差額としては183万3,000円の増という形になっております。

次に、5、科目別一覧となります。I事業活動収支の部の事業活動収入でございます。こちらは、1補助金が調布市からの補助金で人件費補助金に事務費補助金となっております。このうち、人件費補助金に関しては、7,834万5,000円、前年度に対して200万8,000円の増となっております。これは、定期昇給、それから臨時職員の時給のアップ、また昇任・昇格による増でございます。次に、事務費に関しては13万5,000円の減となっておりますが、これは予算的に財政課のほうから厳しい状況を指導されておりますので、13万5,000円ということで全体の経費の縮減の中で対応していくということになりました。

2指定管理料でございます。3,085万2,000円でございます。昨年度より275万7,000円の増でございます。これの計算式は、実篤記念館の事業費、施設管理運営費、予備費を足したもののから、利用料収入、諸収入、展覧会受託収益を引いたものの金額となります。

受託事業収入は、実篤記念館の日常管理費と展覧会受託で、実篤公園の日常管理費については例年どおりでございます。受託事業に関しては、展覧会受託に関しては現在具体的なお話をいただいていない状況ですが、年度途中からお話をいただくケースもございますので、6,000円の科目設置をしております。

利用料は130万円、こちらは今年度平成30年度と同額となっております。平成30年度の実績からこちらの数字となっております。

5諸収入でございます。35万1,000円、前年度と同一額ということで、講座参加や友の会、それから自動販売機の飲料の売り上げ収入などがこれに当たります。

6自主事業収入です。合計で698万2,000円、昨年度より185万3,000円の減でございます。主に、物品販売事業収入に関しては645万でございます、55万円の減額となります。これは「文豪とアルケミスト」などのタイアップ企画を想定した上でもこの金額でおさまるということで、平成30年度の実績からこの数字といたしました。また、繰入金に関しては、昨年度は前年度の繰越金を繰り入れすることで130万をミュージアムグッズの棚などの費用に充てるということでございまし

たが、今年度は先ほど申しましたように、投機的活動収支の部で計上することから、繰入金は科目設置の1,000円ということで、マイナス129万9,000円となっております。

そして、このことから事業活動収入は1億3,465万5,000円、前年度に対して239万2,000円の増ということでございます。

6から事業活動支出となります。1管理費でございます。1人件費につきましては、先ほどご説明したように、財団職員、非常勤職員、臨時職員の人件費にかかわる費用でございます。定期昇給や時給の単価アップなどにより7,834万5,000円から200万8,000円の増ということになります。

2事務費は、総額が1,003万3,000円となり、昨年度より13万5,000円の減ということで、全体経費の縮減で対応させていただきます。

2事業費でございます。1普及促進事業費でございます。1,199万円の予算に対して、昨年度の前年比33万2,000円の増でございます。その中で、増となる理由としては、2一般需用費が18万5,000円の増、これは先ほど来申し上げております博学連携プログラムの増ということと、それからパソコン等のソフトの更新ということの費用でございます。また、3役務費の14万7,000円の増に関しては、美術品の運搬、作業員の人件費の増に伴うものでございます。

次に、2事業管理事業費でございます。166万6,000円で前年度と同様でございます。資料の整理・保存にかかわる費用でございます。3情報提供システム事業費です。339万1,000円、昨年度比1万円増です。情報提供システムの運用にかかわる費用でございます。1万円の増は消費税の増税分でございます。4受託事業費です。6,000円で昨年度に比べ31万9,000円の減ということで、先ほど来申しましたように、具体的な展覧会の受託についてお話をまだいただいておりますので、科目設置ということで6,000円となっております。

3施設管理費でございます。合計2,219万2,000円。昨年度より234万9,000円の増です。実篤記念館の施設管理及び実篤公園の日常管理にかかわる費用でございます。1施設管理運営事業費のほうでは、1需用費（修繕料）のほうで大きく数字が変わっております。261万1,000円、前年比79万7,000円の減でございます。これは、エレベーターのシーケンサーの修繕の費用が百数十万かかるというふうに大き

な修繕ではございますが、前年まで行われておりました二酸化炭素消火設備の修繕が比較的費用が大きかったために、その差額により79万7,000円の減となっております。また、入館者用のパンフレットの在庫が足りなくなってきたことから平成31年度増刷することから34万5,000円、前年にはなかった事業の予算を組んでおります。3委託料でございます。677万円、前年度比245万6,000円の増でございます。維持管理委託料に関しては190万2,000円の増ということでございますが、これは収蔵庫燻蒸費と環境調査という隔年でやります事業に関して、収蔵庫燻蒸費のほうはかなり費用増ということでございますのでその差額ということと、シルバー人材センターの単価増が連動しております。保守点検委託料に関しては、206万3,000円、48万2,000円の増ということで、二酸化炭素の消火設備点検に関しては特殊な点検方法が必要ということで増額、また、先ほど補正でお願いいたしました建築設備点検の増ということで48万2,000円の増となっております。そのほか、デザイン委託料ということで、入館者用パンフレットのデザインが6万5,000円ということになっております。それ以外は、若干のお金に関しては消費税の増に伴うものが大半の理由でございます。

次に、2実篤公園管理事業費でございます。678万6,000円の計上をし23万4,000円の増でございます。特に、維持管理委託料603万2,000円で、実篤公園の日常管理業務、公園の管理等とそれから旧実篤邸の公開に対するシルバー人材センターへの委託の費用の単価増がございました。これは東京都の最低賃金の増に連動した対応ということでございます。22万7,000円の増、そのほか警備委託料に関しては消費税分の7,000円が増となっております。

4自主事業費でございます。全体が698万2,000円、昨年度に対して185万3,000円の減額ということでございます。物品販売事業に関しては、収入に対して仕入れを減らし41万8,000円の減額、また、委託料に関しては、先ほど来申し上げておりますように、ショップコーナーの棚等の製作費に関して投資的活動収支のほうへ移すことからマイナス116万円ということになりました。6広告・宣伝費の6万円増は、先ほど事業計画のほうでご説明しました仙川駅前の広告掲示料の増ということでございます。

3自主事業でございます。合計104万円に対し、前年比33万5,000円の減でございます。収入の減に連動した形で自主事業にかか

わる費用は減額となります。観梅会及び朗読ワークショップ等にかかわる費用に関しては減額をしておりません。

以上で、事業活動支出の計が1億3,460万5,000円、前年度より239万2,000円の増、収支差額に関しては5万円、これは後ほど出てくる予備費に当たります。

次に、9ページでございます。Ⅱ投資活動収支の部、収入に関してはゼロ円。投資活動支出、1投資活動支出、1固定資産取得費、1什器備品費ということでミュージアムショップの棚とワゴンの製作家具ということで、製作費の100万円をこちらから支出しています。それによって、投資活動支出については100万円の増、収支差額に対してはマイナス100万円となります。

財務活動収支の部では、予算は収入、支出ともゼロ円でございます。

最後に、10ページでございます。Ⅳ予備費支出でございます。予備費は、先ほどの事業活動収支で残りました5万円がこちらの5万円に当たるもので、予算額としては5万円、昨年と同じ額で増減がゼロ円になります。これにより、当期収支差額に関しては、100万円マイナス、前期繰越収支差額については平成29年度の決算繰越金からショップ改修費を引いた額283万3,000円を計上いたしました。次期繰越収支差額はそこから100万円マイナスの183万3,000円となります。前期及び次期の繰越収支差額に関しては、昨年度は計上しておりませんので、増減がそれぞれ288万3,000円、183万3,000円となります。

以上で、雑駁でございますが、平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の予算についてのご報告を申し上げます。

○議長 事務局の説明が終わりました。

初めに、報告第2号「平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画について」、質疑、ご意見はございませんか。

○瀧田評議員 何点かあるんですが、1点目が今度平成という元号が終わりますが、この書類も平成31年度ということで作られていて、「実篤がみた女性たち」のチラシも平成で作られていて。記念館は今後元号を踏襲してやっていて西暦に移行するということを考えてはいないのかというのがまず1点で。

2点目は、長與善郎の特別展があるということですが、長與善郎の「與」が旧漢字であるというのは何らかの意図があるのかというのが2点目で。

3点目は、毎年1回色紙を購入しているんですが、色紙は今後あまり刷

り増すことはないと聞いていたんですが、どうも新しくまた作ったようですので、そのあたり何か風向きが変わったのかというあたりが3点目で、以上3点をお伺いさせていただきたく思います。

○議長 事務局、お願いします。

○事務局 西暦表記に関しては、市役所の外郭団体ということで元号表記をそのまま踏襲させていただいております。

長與善郎については、伊藤からご説明させていただきます。

○事務局 長與善郎の名前の「與」の字を旧字にしておりますのは、今は通例としては新しいほうの字を使っているんですが、名字としては正式には旧字ということで、今お預かりしておりますご遺族もご自分のお名前を旧字でお書きでいらっしゃいますので、こちらが正式な名前と考えまして、旧字の方で長與善郎の表記を。特に、展覧会というような形で目立つ形ですので、今回は統一させていただくことにいたしました。

○事務局 次に、色紙でございますが、本当に4種類の色紙が全てゼロになってしまいましたので。

○瀧田評議員 そうですね。僕がこの間買ったとき、これでなくなりましたって。

○事務局 この間買ったのでゼロになっていきますので、やはり瀧田先生だけではなくご要望がかなり根強いものがございますので、平成30年度には3月に「この道」と「勉強勉強」（愛用の机）に関しては増刷させていただいて、ちょっと予算の関係で平成31年度、新年度に入りましたら「君は君」と「共に咲く喜び」のカラーのものを増刷させていただく予定でございます。

○瀧田評議員 差し支えなかったら、どれぐらい刷るのかという。今度どれくらい。

○事務局 各300を刷らせていただいたので、この様子だと3年から5年ぐらいは残るかと思います。

○瀧田評議員 わかりました。

○議長 ほかに、質疑、ご意見ございますか。

○小西評議員 簡単な確認なんですが、いいですか。

ゴールデンウィークが今度10連休とかあって、今資料を見る限りでは4月30日だけお休みのようですが。最後の、資料の18ページのところに休館日って書いていて。

○事務局 30日が祝日と決まる前の資料でしたね、申しわけございま

せん。

○小西評議員　いえいえ。10連休は休まない？

○事務局　休まないです。10連休は全て開館。それで、10連休明けの1日だけの5月7日のお休みのみということでございます。ここで申しますと、職員のシフトが非常に大変になっております。

○議長　ほかにございますか。

（「ありません」）

○議長　なければ、質疑を打ち切ります。

次に、報告第3号「平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について」、質疑、ご意見はございませんか。

○瀧田評議員　これも差し支えない範囲でお伺いさせていただきたい。

人件費で給与体系というのは僕も大学に勤めていて理想的な給与体系はどうあるべきみたいな話が時々出るんですが、大まかに言うと記念館の給与体系というのはどんな構造というか、幾つかに分かれているとかも一つで、そこに手当てがつくだとか、大まかなことをちょっと一度聞いてみたいなと思って。差し支えない範囲で。いかがでしょうか。

○事務局　給与体系につきましては、原則、先ほど福島から申し上げたとおり、市の監理団体ということで、人件費自体が全て補助金で賄われているということから市の給与表に準じた形で定めております。いわゆる職務給という形で、それぞれの職責に応じた給与表ということで、後ほど説明しますが、今回は人事異動で昇格等がありましたので、それに伴って上げていくという形になります。今後につきましても、おそらく一般財団法人として独自に補助金なしで人件費を私どもが捻出するということはおそらく不可能だと思いますので、補助金を出す側の基準で私どもも規則及び規程集の中に給与表というのを載せています。

○事務局　等級でつくりまして、それぞれの等級が事務局長、次長、それから係長というふうに分かれておりますので、その形でやってまいります。ということは、市が変われば給与表も変わるということでございます。以上です。

○瀧田評議員　わかりました。

○福田相談役　ゴーンさんみたいなことはないわけね。

○事務局　特別なクラスはないです。決して上ではないです。

○小西評議員　すみません、ちょっと簡単な質問をまた。

消費税の件で確認ですけど、払うほうは増税分が盛り込まれているとい

う認識で、かつ10月から半年分増税分が入っている。多分支出のほうは来年もっと、1年分だから今年1年分じゃないんで来年はもっと上がるだろうという認識でいます。

あと、インカムのほうなんですけれども、これは入館料とか友の会の会費とかというのは税金の扱いになっていて、今回上がらないように見えるんですけれども、関与しないから上がらないという認識で合っていますか。

○事務局 関与しないからというのは？

○小西評議員 税金を払わないから入館料は上がらない、もしくは増税分払うんだけども上げないで頑張るのどちらか。

○事務局 後者のほうでございます。

○小西評議員 払うんだけども、上げない。

○事務局 払うんだけども、上げられない。これは、入館料に関しては、調布市武者小路実篤記念館条例と規則の中で定められておりますので、そちらが改定しない限りは上げられない状況でございます。今大人200円・子供100円というのは設定されている最大限の数字でございます。

○事務局 今度市の基本計画が新しくなりまして、その中に私どもの記念館の活動も含まれておるんですが、成果指標というのがございまして、その成果指標については、入館者数、来園者数等なんですが、それ自体の数字が1万人だったでしたっけ……。

○事務局 4万人になったと。

○事務局 3万人の目標から4万人の目標に上がりました。ということは、その部分については来館者数を増やして対応せよという基本計画の方向性ですので、それに沿って私どももより多くの来館者が増えるように努めて、税の支払い分について賄っていきたいと考えております。

○小西評議員 もう1つだけ。物品棚が固定資産だというお話だったんですけれども、減価償却何年ですか。

○事務局 5年を予定しております。

○小西評議員 5年償却。

○事務局 はい。5年償却ということで予定しております。

○小西評議員 わかりました。

○事務局 定率ですね。

○事務局 はい、定率です。

○小西評議員 会社と一緒にです。

○議長 よろしいですか。

ほかにございせんか。

(「ありません」)

○議長 なければ、質疑を打ち切ります。

ご異議なしと認め、報告第2号「平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画」及び報告第3号「平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について」は、了承ということに決定いたしました。

○事務局 ありがとうございます。

○議長 以上で、議案の審議は全て終了いたしました。

次に、その他の報告事項について、それぞれ事務局から一括して説明願います。

○事務局 その他報告。まず、ミュージアムショップのリニューアルについてご報告させていただきたいと思います。

本日お配りいたしました資料、その他項目の順番に沿って資料が組んでありますので、上からごらんいただきたいと思います。

ミュージアムショップのリニューアルについては、かねてよりいろいろ計画をしてきたものでございます。ショップのリニューアルは昨年12月に家具を搬入し、新しい形になってまいりました。

エントランスホール、意外と全くなくなると広く感じるんですけども、ここに棚2台、ワゴン1台ということで搬入し、棚を開くことでディスプレイなどに使えるということになっております。入れかえた後にお客様の購買意欲が非常に高まり、絵葉書はこれまで立てた形でぐるぐると回転するような形のディスプレイでお買い求めいただいていたんですけども、この絵葉書の箱とディスプレイが非常に好感を持たれて、絵葉書をお買い求めになる方の量が非常に多くなったということと、入っていただいて、お客様の足が必ずとまっていただけということで、非常にリニューアルした効果があるのではないかと考えております。

下段の左側の写真でございますが、入り口よりショップを見るということで、左端のシクラメンが置いてある台でございますが、これは来年度の予算で平成31年度にワゴン等をつくっていくということになっております。ここはボランティアさんがガイドボランティアの受付などに使っているところでございますので、移動式のワゴンの形をつくって、全体のイメージの統一感をより持たせていきたいと考えております。以上でございます。

○事務局　　続きまして、まず、記事でございます。実篤記念館に関する記事のコピーをお配りしております。

平成30年度はやはり新しき村の100年に関する取材、または資料・情報提供が多く発生いたしました。新しき村関連につきましては一覧表にしております。宮崎などでは連載もされましたし、共同通信からの配信記事については全国に配信をされているということです。

それから、その後ろにございますのがチョコレートの記事をまとめてございますが、こちらはちょっと思わぬ反響をいただきましたが、発売の前日、前々日に東京新聞、読売新聞に載りましたが、その反響が大きくて、発売日にはほかの業務に支障を来すほどの電話のかかり方ということで、予約分をその日の3時で締め切らざるを得ないというような大反響で、1週間で売り切れてしまいました。鎌倉文学館さんにお預けした分だけが細々とバレンタインまで販売できたんですけれども、今回につきましては、パッケージが非常に目を引いたようで、缶だけでも欲しいというようなお問い合わせもいただきました。これにつきましては、館への誘導に資するのであれば、通販分を少なくしたほうがいいのではないかといろいろご意見もあって、それから1人が買える個数を制限したほうがいいんじゃないかというようなさまざまなご意見をいただいておりますので、来年に向けてまた考えながら商品開発をしていきたいと思っております。

それから、その次でございますが、実篤公園・記念館、それから旧実篤邸への取材でございます。先ほどもご紹介しましたが、登録有形文化財に登録されたことで、7月に登録が決まりまして11月に登録されたんですが、7月の段階から毎月のようにぱらぱらと取材があるという状況で、最後は2月にプレートが届いたところまでということで、息長く紹介していただくきっかけになりました。それから、右側のページの分は、梅を取り上げていただきまして、これが観梅の集いも含めてのご紹介となりました。

もう一つ別にとじてあるものでございますが、こちらはガイドブック、何ていうかちょっと大げさなタイトルがついているガイドブックで、『死ぬまでに一度は訪ねたい東京の文学館』ということですが、ページを何ページにもわたって割いていただいておりますので、丁寧なご紹介をいただいているかなということでございます。

続きまして、春の特別展のチラシのコピーをお配りしております。こちらは印刷の納品が皆様にお配りするまでには間に合わなかったんでコピーで失礼しておりますが、春の特別展のこういったチラシを作成しております。

す。実篤に関しましては、本人が最初の影響を与えられたのは母であるとか、あるいは文学へ向かうきっかけとなったのが志茂テイへの初恋であるとか、あるいは新しき村をつくるについては房子の協力があったからであるとか、そういったことを折々書いておりますし、大変親密な家族関係を築くことができた安子夫人との出会いというようなことも大きく実篤の生涯にかかわっておりますし、安子さんとの出会いが書画の製作にもつながっているということで、さまざまな段階で女性との出会いというものが実篤の仕事と生涯に影響を与えているということで、このテーマを今回は取り上げております。4月27日から6月9日という会期です。これにかかわってということと、それから『友情』100年と両方を絡めて、瀧田先生の講座も開催するという事になっております。

続きまして、ぐるっとパスですけれども、近年ずっと参加しておりますぐるっとパスには、2019年も参加いたします。これは美術館・博物館の共通入場券・割引券ということで、さまざまな美術館・博物館の利用者が自分の知らない美術館・博物館を発見してまた来ていただけるという効果が見込まれるということもありまして、参加しております。2019年につきましては、最後のページをめくっていただくと、神奈川、千葉、埼玉県まで範囲が広がっております。2020年をにらんで範囲の拡大をするということでこういった館も入ってきているということで、より広い範囲で実篤記念館についてもご案内ができるということかと思っております。

あと、リストにないんですが、こちらの府中市美術館、小金井市立はけの森美術館、実篤記念館のスタンプラリーなんですが、「お散歩！おとなり美術館 ミュージアム・リンク・ムサシノ」という形で始まりました。これは府中市美術館の呼びかけで始まりまして、府中市美術館がちょうどリニューアルオープンを3月16日にしたんですが、そこをスタートとして1年間ということです。府中市美術館のユーザー、それからのはけの森美術館のユーザーと、実篤記念館の来館者では重なる部分とそれから重ならない部分があると思うんですが、これをきっかけに足を延ばしていただけるように、しかも期間が長い、1年間ございますので、十分回っていただけるかなということで、特典などもあるということで、もう既に実施しております。これがお配りしたものでございます。

○事務局　続きまして、役員報酬の源泉徴収額の変更についてということでございます。

こちらにつきましては、平成31年3月8日付で、調布市の行財政改革

課長から各監理団体所管課長宛てに役員等報酬にかかわる源泉徴収についてという情報提供がございました。その内容につきましては、市の監理団体である私どもと同じ一般財団法人の調布市市民サービス公社において、武蔵府中税務署から源泉徴収税の徴収についての税務調査の結果、指導がありました。その指導の内容につきましては、これまで私どもやほかの監理団体もそうなんですが、源泉徴収税額、私たちは源泉徴収義務者ということでお支払いする際に源泉徴収させていただくんですが、日額の報酬1万5,000円につきまして一律に10.21%を乗じた1,531円を徴収させていただいておったんですが、武蔵府中税務署からの指導によって、報酬日額に対して給与所得の源泉徴収税額表というのがあるんですが、この中に日額で支払う場合の乙欄という表がございまして、そこで1万5,000円に対応した税額が3,840円という金額になっております。これを源泉徴収をせよということでございまして、日額表記で源泉徴収税額が出ているのは、その税額表の乙欄のみということで、その源泉徴収税額を徴収せよということでございます。給与所得者の扶養控除等申告書が提出されている場合は違うんですが、提出されていない場合は、それを徴収して、あとは各自確定申告ということでございます。先ほどの市民サービス公社では、それを踏まえて平成30年1月から12月までの源泉徴収税額不足分を追加納付を税務署にしたところでございますが、私どもを含めて他の監理団体につきましては、3月8日以降、日額で支払う場合に武蔵府中税務署の指導により3,840円今後徴収するということになります。ということで、ご承知おきをいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

続きまして、平成31年度の職員体制についてということで、今お手元にお配りした一般財団法人調布市武者小路実篤記念館職員・臨時職員名簿（案）ということで、4月1日以降の体制でございます。

まず、私でございますが、これまで常務理事と事務局長を兼務しておったんですが、今後は常務理事ということでさせていただきます。事務局長につきましては、事務局長代理であった福島が昇格いたしまして、4月1日以降事務局長として勤務をさせていただくということになります。また、生野につきましても、引き続き再任用で主幹という立場で勤務をさせていただきます。その結果、これまで事務局次長で事業係長事務取扱であった伊藤陽子につきましては、福島がこれまで兼務しておりました総務係長事務取扱を含めて双方の係の係長を兼務する、事務取扱を行うということに

なりましたので、よろしくご承知おきを願ひいたします。

それで、一番下の欄に臨時職員として山縣栄子という者がおるんですが、これまで勤めておりました高橋淑子が2月末をもって退職いたしました関係で、3月に募集を行いまして4月1日から臨時職員として山縣栄子という者が受付、庶務、物販の担当をさせていただきますので、引き続きよろしく願ひいたします。以上でございます。

○議長　ただいま事務局の説明が終わりました。

その他、報告事項についてご質問、ご意見ございますか。

特にないようでしたら、本日予定しておりました案件は全て終了いたしましたので、平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館第2回定時評議員会を閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

(午後5時9分　閉会)